

福島第一原子力発電所 サブドレン他浄化装置の停止について（続報）

< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 9 月 1 7 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

○昨日（9月16日）午前5時40分頃、当社社員が定期的な巡視を実施していたところ、サブドレン他浄化装置が自動停止していることを確認しました。

○当該装置の停止に伴い警報は発生しておりませんが、関連するパラメータのトレンドを確認した結果、午前5時18分に停止していることを確認しました。

○当該装置が停止した原因は、現時点で不明であり、原因を調査しております。

○なお、サブドレンの汲み上げは継続しており、現時点でプラントへの影響は確認されておられません。また、プラントパラメータ、モニタリングポストの指示に異常はなく、周辺環境への影響は確認されておられません。
(2021年9月16日お知らせ済み)

○その後、現場を調査したところ、吸着塔A系に繋がる入口弁に設置されているバルブの開閉状況を検知するリミットスイッチの位置がずれたことを確認しました。

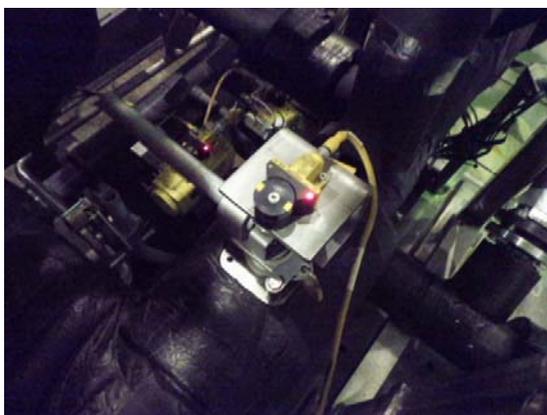
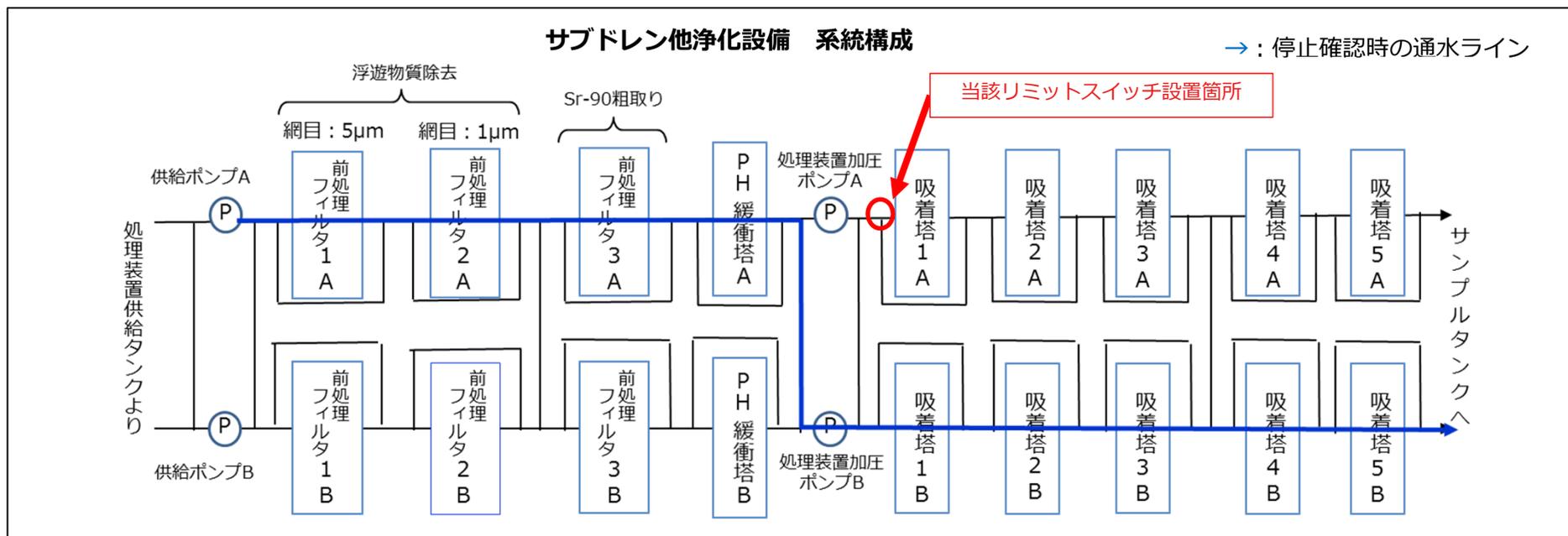
○リミットスイッチの位置がずれ、リミットスイッチとバルブとの接点が外れたことで、監視画面上の表示が「中間開」となったことにより、自動停止に至ったものと判断しました。なお、現場の当該弁の状態は全閉であることを確認しております。

○リミットスイッチの位置がずれた原因については、現時点ではわかっておりませんが、装置停止時に作業等は実施しておらず、現場確認のうえ当該リミットスイッチの位置調整を行い、動作に問題がないことを確認しました。今後、再発防止対策として今回のようなケースにおいても系統が停止したことがわかる警報の設置等を検討してまいります。

○なお、昨日午後8時56分にサブドレン他浄化装置の浄化運転を再開いたしました。

○引き続き、廃炉作業を安全最優先で着実に進めてまいります。

【参考】サブドレン他浄化設備系統図・現場状況



【入口弁の状況】



【リミットスイッチの現場状況】